

新潟本社行動計画の取り組み状況について

2023年度 第3四半期進捗報告



2024年1月31日

東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

目次

1. 安全性向上の取り組み
2. 新潟本社運営体制の構築の取り組み **update**
3. 防災支援の取り組み
 - ①緊急時の初動体制
 - ②新潟県原子力防災訓練への協力 **update**
4. 産業活性化の取り組み **update**
5. 地域貢献の取り組み
 - ①長岡技術科学大学との共同研究 **update**
 - ②地域行事への参加 **update**
6. 傾聴と対話の取り組み
 - ①コミュニケーションブース **update**
 - ②県民の皆さまへの説明会
 - ③発電所視察対応 **update**

2. 新潟本社運営体制の構築の取り組み（1/2）

- 新潟本社の設置
- 新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会へのご協力

<新潟本社の設置>

- 2015年4月、新潟本社設立
 - 県内全域における広聴・広報活動や原子力災害時の避難支援策の検討・実施
- 2018年3月、新潟本社行動計画を策定し、活動拠点として、柏崎市内に「まもる・そなえる・こたえる」オフィスを開設
- 2019年4月、新潟県の皆さまとのコミュニケーション活動をより強化していくため、柏崎市内のカムフィー2階に地域対応業務の拠点として、新たにオフィスを開設
 - 「まもる・そなえる・こたえる」オフィスを拠点としていた地域対応要員が、同オフィスへ移転。さらに、フリーアドレスを導入し、新潟本部や発電所内の地域活動要員も利用
 - 広聴活動で得られた地域の声を活かし、地元目線の取り組みを充実させていく

まもる・そなえる・こたえるオフィス



カムフィー



3. 防災支援の取り組み ②原子力総合防災訓練への協力

- 2023年10月27～29日に、国、県、市町村、住民の皆さま、原子力事業者が一体となって、柏崎刈羽原子力発電所で重大事故が発生したことを想定した原子力総合防災訓練が実施されました。
- 今回の訓練では、新潟県内30市町村や内閣府、原子力規制庁、自衛隊、警察や消防、当社など119機関が参加し、新潟県内全域において、さまざまな訓練が実施されました。

当社参加の訓練※（参加実績） ※柏崎刈羽原子力発電所以外の新潟県内全域で行われた訓練への参加実績

訓練項目	当社実施内容	当社参加人数
災害対策本部運営訓練等（10月27日・28日）		
新潟県内各自治体の災害対策本部等における運営訓練	新潟県内各自治体の災害対策本部等への発電所情報等の伝達	12名
オフサイトセンターにおける運営訓練	オフサイトセンターへの発電所情報等の伝達	4名
緊急時のモニタリング訓練	UPZ圏内の放射線モニタリング	2名
住民避難訓練等（10月28日・29日）		
PAZ内放射線防護対策施設の屋内退避	福祉車両を活用した要配慮者の避難支援	7名
PAZ内住民避難訓練	避難経路所等の設置、運営支援（住民等の誘導補助）	30名
UPZ内住民の一時移転訓練	避難経路所等の設置、運営支援（住民等の誘導補助）	21名
スクリーニング・簡易除染訓練 （安定ヨウ素剤緊急配布訓練含む）	住民および避難車両のスクリーニングと簡易除染支援 （スクリーニングポイントにおける安定ヨウ素剤の緊急配布支援含む）	108名
原子力防災個別訓練	防災訓練に合わせた自治体訓練（スクリーニング測定デモ等）	24名

原子力総合防災訓練

10月27日・28日 新潟県災害対策本部等における運営訓練



10月27日・28日 オフサイトセンターにおける運営訓練



10月28日 福祉車両を活用した避難支援



10月29日 スクリーニング訓練



4. 産業活性化の取り組み

- 当社は新潟工科大学の学生（当社との協働プロジェクト1期生）と協働で、柏崎レジリエンスセンター緑地エリアの設計・デザイン検討を進めてきました。
- 2023年10月以降、2期生と共に、完成後の柏崎レジリエンスセンターで地域の防災力向上、賑わい創出に繋げることのできるイベントを開催するため、ワークショップなどで地元企業から意見を聴くなどして、企画の検討を進めています。
- その一環として、災害時における避難生活や支援活動をイメージするため、学生自ら車中泊などを体験する「防災キャンプ」を実施しました。（2023年10月12～13日、新潟工科大構内にて）



ワークショップ（作業会）の様子



段ボールベッド・テント設営の様子



非常食・車中泊体験の様子

5. 地域貢献の取り組み ①長岡技術科学大学との共同研究

- 災害時の通電火災防止の理解を深める活動として、長岡技術科学大学と当社で共同開発し、船山(株)が商品化した「ブレーカー実験キット」を活用し、以下のイベントに参加しました。
- 2023年10月19日に、柏崎市内の中学校へ長岡技術科学大学と共同で防災出前授業を行いました。
- 2023年11月11～12日に、船山(株)が主催する、親子で消防隊のレスキュー体験などができるイベント「みんなのレスキューデイズ」が長岡市で開催され、通電火災の防止を学ぶコンテンツとして活用されました。
- 同じく、11月11～12日に、(株)良品計画が主催し、新潟県が共催している、地域一体型の防災力向上を目指したイベント「いつもの もしもCARAVAN in直江津」が開催され、通電火災防止の実演を行いました。



柏崎市内中学校での出前授業の様子



長岡市内みんなのレスキューデイズの様子



いつものもしもCARAVAN in直江津の様子



5. 地域貢献の取り組み ②地域行事への参加

＜参加実績＞

地域行事	実施日	作業内容	参加者数
魚野川河川清掃（魚沼漁協）	10月1日	・湯沢・塩沢地区の河川清掃作業	4名
第22回むらかみ宵の竹灯籠まつり	10月7日	・竹灯籠の配置や点火のお手伝い	3名
第44回小千谷トリム・ウォーキング大会	10月9日	・コースの誘導	4名
第25回米・食味分析鑑定コンクール 国際大会in津南	12月1・2日	・会場交通誘導 ・シャトルバス案内	4名
第21回柏崎マラソン	10月22日	・駐車場内車両誘導 ・コース上の交通整理	31名
ニュースポ・パラスポ体験フェア&こどもの遊びの広場2023	11月5日	・各体験の運営補助	6名
第5回長岡縄文の丘・米百俵マラソン	10月1日	・コースの管理 ・会場設備撤去	10名

6. 傾聴と対話の取り組み ① コミュニケーションブース

- 新潟県内において「東京電力コミュニケーションブース」を設置し、県内の皆さまからのご疑問やご意見など、さまざまな「声」をお聴きしています。
これまで、県内全市町村において128回開設し、25,424名にご来場いただきました。
- 柏崎刈羽原子力発電所における核物質防護強化の取り組みや発電所の安全性を向上させる取り組みについて、直接地域の皆さまにご説明するとともに、ご意見を頂戴しました。
いただいた貴重なご意見につきましては、今後の発電所運営に活かしてまいります。

開催日程	市町村	場所
10月 6日(金)～10月 7日(土)	妙高市	新井ショッピングセンター COA
10月14日(土)～10月15日(日)	柏崎市	柏崎市市民プラザ
11月 2日(木)～11月 3日(金・祝)	弥彦村	おもてなし広場
12月15日(金)～12月16日(土)	加茂市	加茂ショッピングパーク メリア

■ 会場でいただいた声

- ✓ 日本のエネルギー事情を考えると、原子力発電の推進はやむを得ないと思っている。
- ✓ 福島第一原子力発電所事故を教訓に、しっかり安全対策がされていると感じました。
- ✓ 社員一人ひとりの自覚が足りないから、原子力発電所でのトラブルが発生するのでは。
- ✓ 柏崎刈羽原子力発電所の建物内部をバーチャル・リアリティで視聴することができ大変良い経験となりました。
- ✓ 長い期間停止していた原子力発電所が安全に再稼働できるのか心配です。



6. 傾聴と対話の取り組み ③ 発電所視察対応

■ 福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、新潟県内をはじめ多くの皆さまに、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策等の取り組みをご視察いただいております。(2011年以降の視察実績は累計で約12万4千人)

【発電所視察者数】

(2023年12月31日現在)

